

第1回 バイオビジネス・パートナーリング

海外メガファーマとのビジネス接点を求めて
～Rocheが求めるパートナー～

2010. 7/15 (木) 13:30～18:30(交流会17:00～)
かながわサイエンスパーク(7階709号室)

神奈川県と木原財団では県内のバイオベンチャーの成長促進、有望な研究成果の事業化の促進支援を目的として、バイオベンチャーによる企業PRのプレゼンテーションや参加者との情報交換の場である「バイオビジネス・パートナーリング」を開催しています。この事業は神奈川県のバイオ産業振興事業の一つに位置付けられ、平成19年度から本年度まで既に11回開催され、創薬・診断ビジネス、再生医療ビジネス、機能性食品ビジネス、医療機器ビジネス等の分野から、延べ57社の県内バイオ関連ベンチャー企業による事業プレゼンテーションが行われてきました。

平成22年度は、バイオベンチャーへのビジネスチャンス創出という原点に戻り、大手企業のパートナーリング戦略紹介と、大手企業とのパートナーシップを目指すベンチャー企業の事業プレゼンテーションを行います。第1回は、海外メガファーマRocheが求めるパートナーリング戦略を学び、また横浜・神奈川で活躍する創薬ベンチャー5社のビジネス紹介を行います。

横浜・神奈川ビジネスネットワークにて、創薬開発ビジネスに関わる企業の皆様のご参加をお待ちしております。

【プログラム】

- 13:00～ 受付開始
13:30～13:35 挨拶：財団法人木原記念横浜生命科学振興財団事務局より
13:35～14:25 ロシュ ファーマジャパン 事業開発ディレクター 医薬パートナーリング
医学博士 鈴木 香氏
基調講演「イノベーション獲得に向けて = ロシュ ファーマのグローバル事業提携・パートナーリング戦略」
- 14:25～14:50 ナノデックス株式会社
14:50～15:15 株式会社NRLファーマ
15:15～15:25 休憩 10分
15:25～15:50 株式会社リブテック
15:50～16:15 株式会社メディネット
16:15～16:40 株式会社リプロセル
17:00～18:30 交流会 西棟 5F 「ウイズ ア スマイル」にて

参加者相互の名刺交換、情報交換、商談などにご活用ください。

【参加費】 3,000円(交流会会費)

【お申込み】 ホームページ <http://www.yk-bio.net> からお申込みください。

＜会場のご案内＞

かながわサイエンスパーク (KSP)
川崎市高津区坂戸3-2-1
(7階会議室)

Tel 044-819-2211 Fax 044-812-8484
<http://www.hotel-ksp.com/access.html>

＜アクセス＞

- ・JR南武線「武蔵溝ノ口」駅下車
- ・東急田園都市線「溝の口」駅下車
- ※溝の口駅バスターミナル9番からKSP行き無料シャトルバスにて約5分

■シャトルバス乗り場案内図



【お問合せ先】 横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク事務局 (財団法人木原記念横浜生命科学振興財団)

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6横浜バイオ産業センター

電話:045-502-4810 FAX: 045-502-9810

WEB: www.yk-bio.net E-mail: info@yk-bio.net

【第1回 バイオビジネス・パートナーリング】

■13:35~14:25 基調講演:「イノベーション獲得に向けて =

ロシュ ファーマのグローバル事業提携・パートナーリング戦略」

ロシュ ファーマジャパン 事業開発ディレクター 医薬パートナーリング 医学博士 鈴木 香氏

■プレゼンテーション題名・要旨

1. ナノデックス株式会社 代表取締役 服部 憲治郎氏 14:25~14:50

がん細胞特異的集積物質と造影剤の連結によるがん画像診断への応用開発

葉酸クラスター型修飾シクロデキストリンはがん抗体と同レベルのがん特異的集積を示す。この物質にX線造影剤を包接することにより、動物がんの位置を明確に示すことができた。各種の造影剤をシクロデキストリンに包接または化学結合によって連結することにより、優れたがん画像診断が可能である。特にPET/SPECT造影剤への応用による、がん検診への開発を進めている。

2. 株式会社NRLファーマ 特別顧問 清水 洋彦氏 14:50~15:15

NRLファーマの創業事業について

NRLファーマは二つの創業シーズの開発に取り組んでいる。アスコロリン誘導体はAP-1抑制作用を有するミトコンドリア指向性の抗酸化障害作用を特徴とし、II型糖尿病などのメタボリックシンドローム及び中皮腫をターゲットとしている。PEG化ラクトフェリン は体内寿命、組織移行性が改善された経口タンパク質製剤で、がん、免疫異常疾患、神経変性疾患などに期待される。

休憩 15:15~15:25 (10分間)

3. 株式会社リブテック 代表取締役社長 中村 康司氏 15:25~15:50

幹細胞研究に基づく癌治療抗体の開発

弊社は、KAST・幹細胞制御プロジェクトの研究成果をもとに、2004年に設立した創業バイオベンチャーです。「癌治療用抗体の創製」に特化し、臨床開発抗体候補の創製、製薬会社への導出モデルを採用し、自社創製抗体(LIV-1205)の導出にも成功しています。本プレゼンテーションでは、膵臓癌を対象とした癌治療抗体プログラム(LIV-2008)についてご紹介致します。

4. 株式会社メディネット 取締役COO 春山 佳亮氏 15:50~16:15

ビジョナリー・アライアンス:メディネットの取り組み

我が国のバイオ産業においては、ベンチャー企業を中心に、各々が持つ新しい技術の実用化、産業化にまい進しているものの、資金調達環境の悪化、制度・規制面での制約等があり、必ずしも産業全体が成長していない状況にある。その打開には、ゼロベースの発想とビジョナリーな戦略が必要であるという観点から、アライアンス戦略を中心としたメディネットの取組みを紹介する。

5. 株式会社リプロセル 代表取締役社長 横山 周史氏 16:15~16:40

ES/iPS細胞による新規創薬スクリーニング技術

ES/iPS細胞は無限に増殖し、かつ、様々な種類の細胞へ分化するという特徴を有していることから、心筋、神経細胞など様々なヒト機能性細胞を無限に供給することが可能になる。この特性を利用したES/iPS細胞の創薬スクリーニングへの応用技術についてご紹介する。

■17:00~18:30 交流会 西棟 5F「ウイズ ア スマイル」にご移動ください。

【お問合せ先】横浜・神奈川バイオビジネス・ネットワーク事務局

(財団法人 木原記念横浜生命科学振興財団)

〒230-0045 横浜市鶴見区末広町1-6横浜バイオ産業センター

電話:045-502-4810 FAX:045-502-9810

WEB: www.yk-bio.net E-mail: info@yk-bio.net